毎索(C)THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.　国立国会図書館　2025/04/21　17:08

日本企業のROE 95年度は3.74％

生保協会調査

米国に比べ際立つ低さ

生保協会は国内上場企業を対象に株主への利益還元状況を調査した。株式投資の判断基準として最重視される「資本利益率（ROE）」が1995年度は3・74％と2年ぶりに前年度を上回ったものの、米国企業に比べ低いなど低い状態が続いている。

ROEは税引後利益を株主資本で割った値で、株主資本が利益出力のために使われているかを示す。このところ、米国企業は株主への利益還元を重視し、95年度は既決算ベースで前年度比で約3倍の伸びを示すなど、株式投資の判断基準として最重視されるようになった。

生保協会によると、日本企業はROEに示されるように自己資本に対する利益率が低く、投資家などに魅力に欠けるとの指摘がある。

生保協の調査によると、日本企業は投資者が多く、投資家などに魅力に欠けるとの指摘がある。

ROEを上げるには、利益率を高めるか、資産の効率を高めるかの2つの方法があるが、日本企業は利益率が低く、資産の効率も低いとされる。

ROEを米国と比べると、日本企業は投資者が多